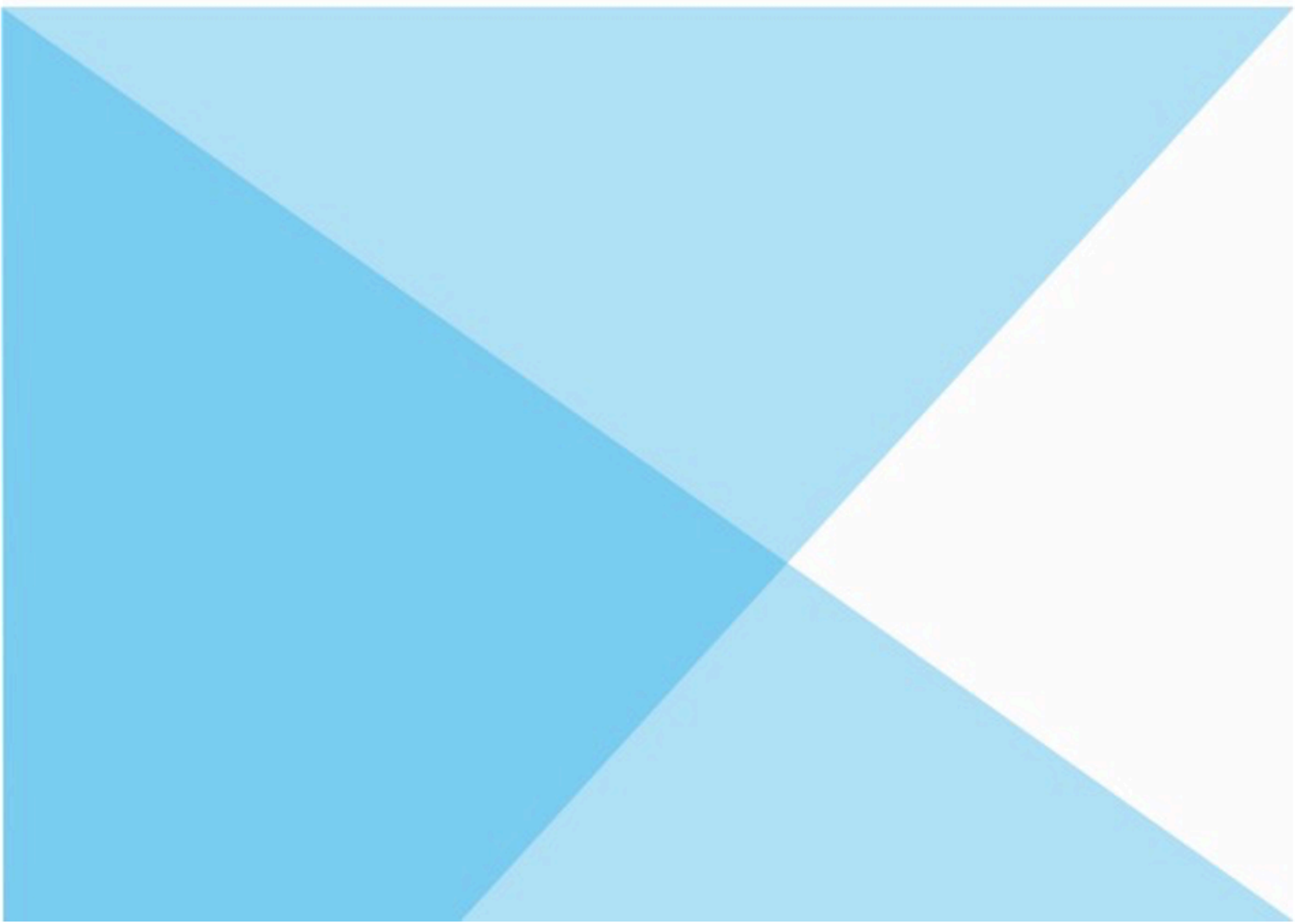


JIN
KA





藤本研究室

100-625.507

ゼミ訪問@100号館507

実際に機器に触れる体験コーナーや
先輩との座談会を用意しています

こんな疑問・不安ありませんか？

- どんな研究をやっているの？
- 雰囲気はどんな感じ？
- 研究室ってどうやって選べばいい？
- 文系だけどついていけるかな？

日時はQRコードからチェック！
随時更新中です



藤本研 Q & A

Q どのような学生が所属していますか？

A 20名(大学院生5名、4年生8名、3年生7名)が在籍しています。学科や理系・文系にかかわらず様々な学生が所属しています。

Q ゼミでの活動を教えてください。

A 【3年次】

毎週木曜4・5限に実施します。主に実験実習、ものづくりを行い手を動かしながら研究手法を学びます。また、外部機関訪問や視覚障がいのある方と駅探索などを実施し、幅広い視野を身につけます。

【4年次】

年間を通じて毎週火曜日に進捗報告会を行います。装置の作成や実験によるデータ収集が中心のため講義以外の時間を使って研究を進めます。基本的に毎日研究室に来てゼミ生同士でワイワイしながら研究しています。

Q 文系でも問題ないですか？ものづくりの経験や知識がなくても大丈夫ですか？

A 問題ありません。藤本研には文系出身の学生も在籍しており、先輩からのサポートも充実しています。ものづくりの経験や知識がなくても、努力や熱意を持って取り組めば研究に支障はありません。また、基礎的な知識やスキルについてはゼミ内で学ぶことができるので安心してください。

Q 卒業生の進路を教えてください。

A 藤本研は就職に強くメーカーやIT業界などに就職する人が多いです。大学院には毎年3-4割程度の学生が進学します。直近3年間の主な進路は以下の通りです。

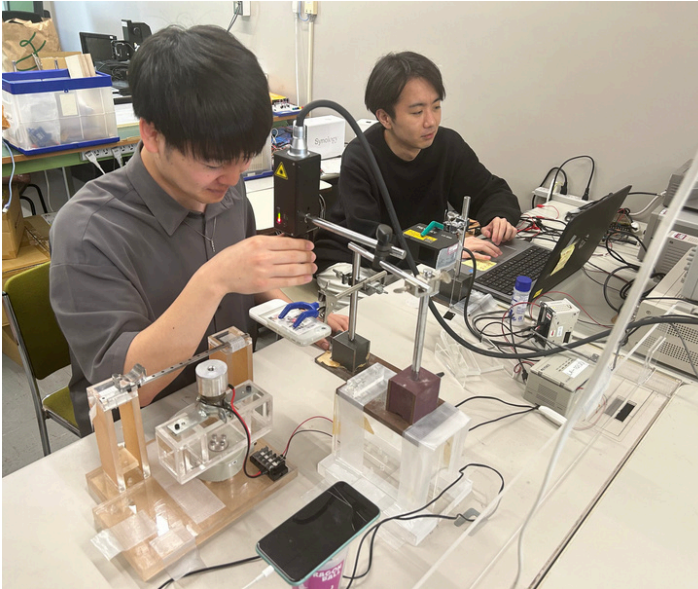
【就職先】

Honda、SUBARU、ダイキン、パナソニック、東ソー、防衛装備庁、デジタル庁、Salesforce、NRI、日本IBM、富士通、NTTドコモビジネス、DeNA、住友生命、博報堂DY1、首都高速道路

研究紹介

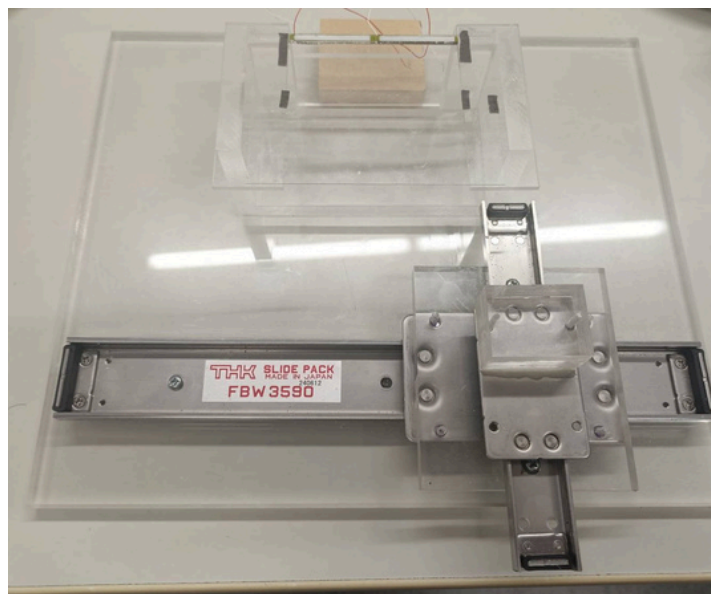
振動JIS

私たちは、スマートフォンなどに搭載されている振動触覚機能の規格化に向け日々研究しています。人間の手指は非常に繊細で、小さな振動の変化を捉えることができます。そのため、スマートフォンのメーカーや機種によって振動の特性が異なると人間が受け取る情報も変わってしまいます。どのデバイスでも同じ情報を得られるようにするため、振動が変化すると人間の感覚はどのように変化するかということを明らかにすべく研究を進めています。



触覚再現

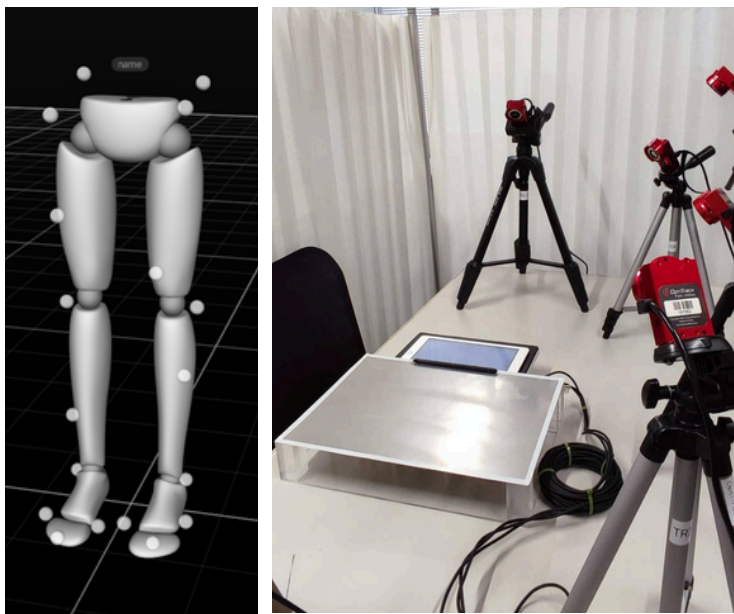
私たちは高周波振動しているものを触るとツルツルとした触感を得られることを利用して、タブレット型デバイスの開発をしています。また触っている途中でonoffを切り替え、突っかかり感を出すことで、凹凸感を再現する研究も行っています。現在はガラスの下にスマホ画面を用いて画像や動画を提示することによる視覚情報と触覚のクロスモーダル効果を目指してデバイス開発に取り組んでいます。様々な触感再現を通して、視覚障害があっても使えるようなタブレット型端末を開発しています。



研究紹介

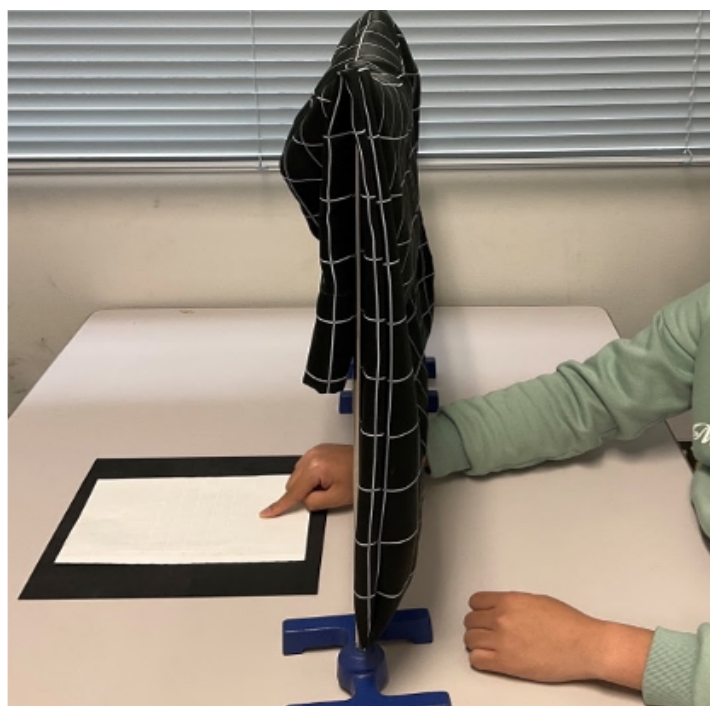
動作解析

モーションキャプチャを使って人の運動機能の解明を目指しています。具体的には、歩行動作解析、姿勢計測を行い、身体に負担の少ない動作や健康増進につながる動作を明らかにしています。研究を通じて、健康的なライフスタイルの実現や使いやすい製品の開発に貢献しています。機材の準備や解析など作業が大掛かりとなり大変なときもありますが、動作が目に見える形で出力される点がこの研究の面白さだと実感しています。



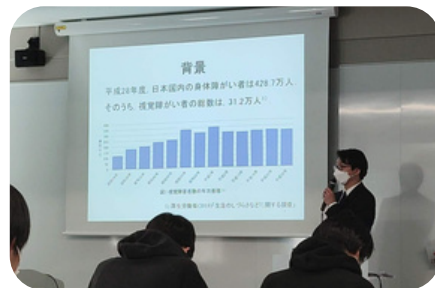
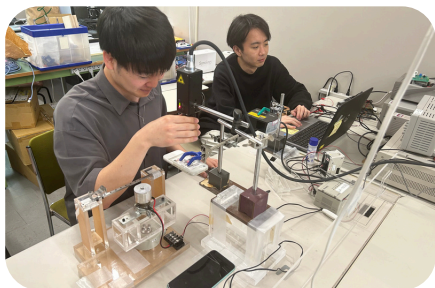
点字

視覚障害者向けに情報を提示する際、点字や点図といった凸記号は、触覚を介して情報を伝達することができ、その機能を十分に発揮するためには設計段階で工夫する必要があります。また、点図において凹記号も盲学校では着目されており、凹点は凸点の触察の補助として活用されています。触察に関して当事者へのヒアリングを通じて、当事者目線課題を認識し、点字を知覚するための条件や、指の姿勢や押下力、正答率などに注目して統計的に分析し、研究を行なっています。



研究室のーコマ

真面目に楽しく研究しています。
10月から1月にかけて被験者実験、卒修論執筆、発表と忙しくなります。



懇親会、ソフトボール大会、BBQを開催しました。



外部機関の出展イベントのお手伝い、
視覚障がいのある方と新宿駅散策を行いました。
また、研究室外でもメンバー同士親睦を深めています。



これまでの成果

障害の有無にかかわらず使いやすいモノづくりを目指しています
皆さんの身近なところで藤本研の研究成果が活用されています
研究で得られた知見をもとに製品のルールが決められました

ボディーソープ



ライン状の突起が上部と側面に付いています。目を瞑っていてもシャンプーやリンスと間違えません。

キーボード



FとJキーに突起がついています。手元を見なくても文字を打てます。

触知案内図(小手指駅)



視覚障害があっても駅構内の構造や施設の配置が理解できます。



ふじもとひろし

藤本浩志 教授

経歴

1989年早稲田大学大学院理工学研究科
博士後期課程単位取得退学。

早稲田大学助手、電気通信大学助手、
通商産業省工業技術院生命工学工業技
術研究所主任研究官、早稲田大学人間
科学部助教授を経て、2004年早稲田大
学人間科学学術院教授。工学博士。

趣味

スポーツ観戦、テニス

先生から一言

研究は辛いときもありますが楽しいも
のです。楽しみ方を伝授します！